

世田谷区のデジタル地域通貨「せたがやPay」、 運用開始から1年が経過し加盟店2,000店舗を突破

流通総額は19億円超に拡大し自治体のDXに大きく貢献
来年度には国民健康保険ポイント事業や入浴券の電子化等への活用も予定

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所マザーズ：3917、以下「アイリッジ」）の連結子会社でフィンテック事業を展開する株式会社フィノバレー（本社：東京都港区、代表取締役社長：川田 修平、以下「フィノバレー」）は、フィノバレーがデジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」のシステム提供と運用支援を行う東京都世田谷区のデジタル地域通貨「せたがや Pay」の加盟店数が、運用開始から約1年となる2022年3月3日に2,000店舗を突破し、また流通総額が19億円超となったことを発表します。

加盟店2,000店舗&流通総額19億円までの歩み

「せたがや Pay」は、東京都世田谷区（区長：保坂 展人）の支援のもと、世田谷区商店街振興組合連合会（所在地：東京都世田谷区、代表理事：桑島 俊彦）が運営する、世田谷区を対象とするデジタル地域通貨です。2021年2月20日に提供開始後、コロナ禍における感染予防対策として非接触決済への関心が急速に高まったことや、各種キャンペーンやソーシャルメディアでの加盟店紹介、アプリ利用サポートイベントの開催等を通じて利用者数と加盟店数を順調に伸ばし、スタートから約1年となる2022年3月3日時点で加盟店2,000店舗の大台を突破しました。利用者数は53,000ユーザー、流通総額19億円となっています。



今後の予定

「せたがや Pay」では、利用者の利便性向上を目的とした加盟店検索機能強化とコインの個人間譲渡機能、加盟店の運用効率化を目的とした決済画面 UI（ユーザーインターフェース）改善を今春中にも実施予定です。

また、世田谷区では2022年度予算において、「せたがや Pay・プレミアム付区内共通商品券の発行支援」を含む産業振興予算として約6億円を計上しており、国民健康保険ポイント事業や入浴券の電子化などでも「せたがや Pay」を活用していく予定です。フィノバレーでは今後も使いやすい UI や魅力的なコンテンツ、キャンペーンの企画・運用を通じ、「せたがや Pay」の普及促進を目指してまいります。

■今月対応予定の新機能・改修内容詳細

駅からお店検索機能	駅を起点とした加盟店検索が可能に（図1）
個人間譲渡機能	チャージしたコイン残高を他の利用者に譲渡することが可能に（図2）
決済画面 UI 改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 支払い時、金額確認画面の金額表示が上下反転表示されるようになり、加盟店側の金額確認がよりスムーズに（図3） ● 支払い確認ステップが1つ減り、よりスピーディーな決済が可能に ● 完了画面でのアニメーション表示によりひと目で決済完了確認がしやすく（図4）



図1 駅からお店検索

図2 個人間譲渡

図3 金額確認

図4 決済完了

「せたがや Pay」について

「せたがや Pay」は、東京都世田谷区の支援のもと、世田谷区商店街振興組合連合会が 2021 年 2 月に提供開始した、世田谷区を対象とするデジタル地域通貨です。ユーザーは「せたがや Pay」アプリをダウンロードして現金をチャージすることで、世田谷区内の「せたがや Pay」加盟店でキャッシュレス決済が行えるようになります。チャージは全国のセブン銀行 ATM で原則 24 時間 365 日、スマホでかんたんに行えます。

店舗の二次元コードをアプリで読み取る方式で専用端末不要のため、店舗側は初期投資費用がかからず導入できます。これまでの紙幣型商品券に比べ安価かつ迅速な発行および運用ができることから、世田谷区による商品券事業にも活用され、地域内での経済循環を活性化する効果が期待されています。

また、自治体が支援する強みを活かし、世田谷区が付与する行政ポイントの受け皿としての活用や、地域の情報インフラとしての活用も、今後見込まれています。

<https://setagayapay.com/>

■せたがや Pay 概要

対象者	アプリ（無料）をダウンロードされたユーザー ※世田谷区民以外も利用できます
利用可能店舗	世田谷区内の約 2,000 店舗（2022 年 3 月時点）
チャージ可能場所	全国のセブン銀行 ATM ※セブン銀行 ATM が設置されている施設の営業時間外はご利用いただけません。
チャージ上限金額	チャージ金額は 1,000 円単位で、チャージ上限は 10 万円です。
交換単位	1 円 = 1 コイン
有効期限	最終利用日から 1 年間

MoneyEasy（マネーイージー）とは

株式会社フィノバレーが提供する、デジタル地域通貨サービスを短時間で安価に開始できるプラットフォームシステムです。スマートフォンアプリを使って、チャージから決済までを可能にします。支払方法として二次元コード読取方式を採用しているため、店舗側での初期投資や手間がかからず導入できることが特長です。また、グループ会社である株式会社アイリッジのファン育成プラットフォーム「FANSHIP」と組み合わせることでマーケティング機能を融合した決済基盤が構築でき、地域活性化への活用が期待できます。オフィス内通貨としても利用できるため、社内制度との連携や社員間のコミュニケーション活性化施策などにも応用できます。

株式会社フィノバレー

株式会社フィノバレーは、デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を軸としたフィンテックソリューションを通じて、世の中の様々な課題の解決を目指しています。地方活性化を目的とした岐阜県飛騨・高山地方のデジタル地域通貨「さるぼぼコイン」や千葉県木更津市の「アクアコイン」、大分銀行の「デジタル商品券発行スキーム」、長崎県南島原市の「MINA コイン」、東京都世田谷区の「せたがや Pay」、熊本県人吉市の「きじうまコイン」などの支援実績があります。

<https://finnovalley.jp/>

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業のOMO (Online Merges with Offline) 支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI (音声インターフェース)、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績に加え、アプリマーケティングにも強みを持ち、データに基づく施策でユーザーを優良顧客へと育成するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」を通じて、購買促進やCX改善の支援を行っています。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。